

目標達成計画

作成日:平成26年7月29日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	グループホームとしての独自の理念が作れていない。	理念を作りあげると共にその理念を職員で共有し、日々の業務に繋げていく。	職員一人一人がもっているグループホームに対しての思いや理想などについて話し合い、事業所独自の理念としてまとめる。	6ヶ月
2	13	個々の職員の力量や意欲などの向上が課題。	職員が事業所の理念を踏まえ、向上心を持って利用者の自立支援にあたること。	職員のスキルアップを図る為、法人内外の研修に積極的に参加するとともに、個別に研修や指導を計画的に行う。	12ヶ月
3	34	急変時や事故発生時の対応など実践力が不十分である。	事案発生時に職員どうしが協力し合って、応急処置や初期対応、段取りなどの対応がスムーズにできるようになる。また、新入職員へもしっかりと指導していけること。	毎月1日の点検日に、職員の基礎訓練や事故を想定した研修など組み入れる。	12ヶ月
4	23	利用者それぞれの要望や意向が十分に把握できているとはいえない。	利用者への職員のかかわり方を改善し、互いの信頼関係を深める。	居室担当として関わっている利用者だけでなく、すべての利用者に対しても職員一人一人が表情や仕草などで要望や意向を気づいていけるよう積極的に観察力を養うとともに人間関係を醸成する。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。